

日程第60 議案第54号 橋本市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について と、日程第61 議案第53号 平成27年度橋本市病院事業会計補正予算（第4号）について の2件

○議長（中本正人君）日程第60 議案第54号 橋本市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について と、日程第61 議案第53号 平成27年度橋本市病院事業会計補正予算（第4号）について の2件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君）それでは、本日、追加提案させていただきました議案について、ご説明をさせていただきます。

議案第53号は、橋本市病院事業会計補正予算（第4号）についてでございます。

資本的支出において、地域連携ネットワークシステムの構築で1,000万円を増額計上いたしました。新たに構築する地域連携ネットワークシステムID-LINKは、電子カルテ、各サブシステム等の情報の共有が可能となり、各施設間の情報連携がより強化され、さらに市民の健康を守る医療情報基盤が構築されることにより、病院と診療所、また、診療所同士の連携、いわゆる病診・診診連携の強化にもつながると考えております。

議案第54号は、橋本市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例についてでございます。

これは、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令が改正されたことに伴い、

所要の改正を行うものでございます。

以上、議案2件についてご説明申し上げます。

議員各位には、よろしくご審議の上、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

○議長（中本正人君）市長の説明が終わりました。

これより、議案第54号について質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）質疑がないようですので、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

ただ今議題となっております議案第54号については、委員会の付託を省略いたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）ご異議なしと認めます。

よって、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

討論する方ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）討論がないようですので、討論を終結いたします。

これより議案第54号 橋本市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第53号について質疑を行います。全般について行います。

質疑ありませんか。

11番 田中君。

○11番（田中博晃君）説明のほう、見せていただきまして、地域連携ネットワークということなんですけれども、これは、このシステムを持っている病院同士でしかできないことかと思うんですけれども、ちなみに、この近隣、市民病院とつながっているような病院で、例えば県立医大もあるよとか、いや近大病院もあるよとかという、そのあたりについて教えていただけますでしょうか。

○議長（中本正人君）病院事務局長。

○病院事務局長（豊岡 宏君）今回のID-LINKというのは、当院がはじめて入れます。その前にちょっと、もう少し説明しておきますと、当伊都・橋本地区は、医師会が非常に地域連携、病診連携が非常に先進的でございます。ゆめ病院システムという独自の地域連携ネットワークシステムを構築して、それで開業医同士での情報の共有化を行っています。それが、基本的には開業医同士の地域システムなんですけど、それに対して、例えば検査の結果でありますとか、そういうことは設備を持っている大病院しかありません。したがって、前から橋本市民病院以下、周囲のそういうような機器を持って重篤な検査とか何かの情報を持っているところに対して、情報の提供を依頼してました。

橋本市民病院は、前からその検査関係のデータだけは何かシステムを苦勞して、手間をかけて、それで提供しておりました。でも、やっぱり、ゆめ病院ネットワークに参加しておられる伊都医師会の先生方にしてみれば、もっともっとデータがほしいと。電子カルテ

も見たいし、それから放射線のデータも見たいと。何とかならんかという話だったんですけど、それをやると大変なデータが個々に構築が必要ですので、大変な手間がかかります。それで、橋本市民病院としては二の足を踏んでおりました。

そうはいっても、これからは病診連携、診診連携の時代ですので、何とか協力したいということで、ずっと議論してきまして、それを解決する手段として、たまたま橋本市民病院はNECの電子カルテシステムを入れているんですけど、その関連システムとしてID-INKというのがあるというのが議論として出てきまして、実は、それを橋本市民病院が導入すれば、そういうシステム関係の新しい仕組みをつくらなくても、逆に、そのゆめ病院に参加しておられる診療所の先生方が、橋本市民病院のデータをのぞき込みにくるということが機能としてできるようになります。そうすれば、どこまで公開するかという議論はまた別にありますけど、橋本市民病院が持っているデータは、今言ったような検査だとか放射線データ、全部含めて見れるようになります。

したがって、私どもからは向こうを見ることはできないですけど、向こうのほうからは全部見れるという意味では、開業医の先生方に対する橋本市民病院の協力という意味では、非常に強力なものになると思っています。

逆に、それは私が来てからずっと病診連携は非常に大きな課題で、ここは伊都医師会の先生方が本当に熱心にやってらっしゃって頭が下がる、それを何とか協力したいと思っていたんですが、やっと橋本市民病院も経営改革がうまくいきまして、財政的余力も出てきましたので、そういうことにやっとお応えすることになったなというふうに思っております。

○議長（中本正人君）11番 田中君。

○11番（田中博晃君）今お伺いしたら、市民病院のシステムをほかの病院であり、診療所から見れるというようなことやったんですけれども、逆に、その病院以外からのぞき込まれるという心配はないのか。もちろん、パスワード等渡していくので大丈夫だとは思いますが、そのあたりについてお伺いいたします。

○議長（中本正人君）病院事務局長。

○病院事務局長（豊岡 宏君）それがこういう場合に一番大きな問題になるところで、それは何度も何度も議論しました。それについては、基本的にはちゃんとルールを決めまして、もちろんパスワードを設定しまして、特にデータを持たれてる患者さんの同意が最大になります。したがって、開業医のほうでもその患者さん、それからうちのほうでもその患者さんの同意を取りつけるという、ちゃんと事前の届け出があって、その方についてのみ許可するというシステムに当然なっております。

○議長（中本正人君）ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

ただ今議題となっております議案第53号については、委員会の付託を省略いたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）ご異議なしと認めます。

よって、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

討論する方ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）討論がないようですので、討論を終結いたします。

これより議案第53号 平成27年度橋本市病院事業会計補正予算（第4号）について を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

○議長（中本正人君）以上で本日の日程は終わりました。

お諮りいたします。

明3月11日から3月24日までの14日間は委員会審査等のため休会とし、3月25日午前9時30分から会議を開くことにいたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中本正人君）ご異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

本日は、これにて散会いたします。

ご苦労さまでした。

（午後2時58分 散会）